

難関突破をめざし 「皆のじむ」

後期前半終了、課題を整理して

学年の仕上げ、後期後半へ

11月下旬からインフルエンザ罹患者が出現し、一定の人数で推移していましたが、12月8日(月)の週に急激に複数学年に罹患者が広がり始め、10日(水)※予備日12日(金)に予定していた持久走大会を中止し、11日(木)、12日(金)を学校閉鎖とする措置を執りました。土日と合わせると4日連続自宅で静養することになりましたので、15日(月)は、罹患者数が激減し、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。

昨日は、中止した持久走大会の代わりに、低・中・高学年ごとに「記録会」を行うこともできました。応援に駆け付けてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

明日で、後期前半が終了します。成果と課題を整理し、学年の仕上げとなる後期後半へつなげていきたいと思います。



元気にスタートする2年生の様子

授業参観・家庭教育講演会・学級懇談会、お世話になりました！

12月5日(金)に開催しました授業参観・家庭教育講演会、学級懇談会では、多くの保護者の皆さまにお越しいただきありがとうございました。PTA役員の皆様は、学級懇談会終了後に役員会にもご参加いただきありがとうございました。遅くまでお世話になりました。

家庭教育講演会では、障がいのある当事者として人権啓発活動をされている倉田哲也さん・美穂さんご夫妻に「でいい・ふれあい・わかりあい～伝えたい大切なメッセージ～」というテーマで、ご自身のことや様々な思いをお話いただきました。

多くの子供たちの、倉田さんのお話を身を乗り出すようにして聞いている姿、しっかりと理解しようと聞いている姿が印象的でした。しかし、中には、倉田さんに対して不適切な行為があつたと職員から報告がありました。「多様な他者との共生」について、「他人事ではなく自分事」ということについて、学校でも折に触れて子供たちに考えさせていくたいと思います。是非ご家庭でも話題にしていただきますようお願いします。



子供たちの様子は、ホームページでも紹介しています。
右側の「QRコード」を読み込んでください。

校訓
やさしく
かしこく
たくましく

校内人権集会を実施しました！

12月19日(金)、校内人権集会を行いました。

校内人権集会では、各学年教材を通して学んだことから日常生活に広げ、学級のことや自分のこと、家族のことなどと重ねて振り返ったり、見つめたりしたことを作文に綴り、代表児童が発表する活動を中心に行いました。(熊本県人権子ども集会に参加した総務委員会児童による報告も行いました。)

代表として発表した児童の作文はしっかりと自分を振り返ることができており、それぞれの学年で丁寧に取り組まれていることが伝わる内容でした。

これからも、「自分を語る」、「お互いのことを知ること」を大切にしたなかまづくり(集団づくり)を大切にていきたいと思います。日常的には、特別なことを行うのではなく、日頃の授業を通したなかまづくり(集団づくり)を進めていきたいと考えています。

先日の家庭教育講演会における倉田哲也さんの講演テーマにある、「でいい・ふれあい・わかりあい」から児童の様子を振り返ってみると、出会ってはいるものの、十分「ふれあっていない」ために「わかり合えていない」のではないかと感じるところがありました。

これから、より意図的・計画的な触れ合いの場を大切にしていきたいと思います。



門松づくり、お世話になりました！

12月20日(土)に、6年生の保護者の方・児童を中心として、「門松づくり」を行っていただきました。PTA大木会長、一小友の会会長 米田さんを中心に、当日8:00からの竹切り他下準備をしていただき、9:30から子供たちも活躍しながら門松づくりを始め、2時間程度で完成させることができました。

この日は、6年生の保護者のご厚意で、豚汁、ぜんざい、焼きおにぎり、わかめご飯、いちご大福等が振る舞われました。6年生以外の学年の保護者の方、子供たちにも協力していただきました。

ご協力いただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

PTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には今年1年大変お世話になりました。ありがとうございました。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

